

## 区市民税課職員 青木 八一郎さん アジアパラ競技大会出場決定!

区市民税課職員の青木八一郎さんが韓国仁川市で行われる「インチョン2014アジアパラ競技大会」に出場する「バドミントン(立位ダブルス)日本代表」に選出されました。

大学入学を機に、バドミントンを始めた青木さんの障害者バドミントンとの出会いは3年前でした。その後、めきめきと実力をつけ、昨年の「全日本障害者バドミントン大会」に出場。身長を活かした角度のあるスマッシュを武器に見事4位入賞。今大会の出場権を手に入れました。

目標は、今大会でのメダル獲得と、6年後の東京パラリンピックへの出場。「障害者バドミントンのパラリンピック正式種目化のためにも、今大会の自分のプレーを通じ、この競技を多くの人に知ってもらいたい。」と青木さん。

アジアパラ競技大会は、10月18日(土)より開催されます。区民の皆様のご支援をよろしくお願い致します。



自身初の国際大会への出場を前に、練習に熱を入れる青木さん。

●問い合わせ先/区総務・防災担当  
(☎592-3066)

## 第1回「山科区民まちづくり会議」 が開催されました。

8月8日(金)、「第2期山科区基本計画」(以下「区基本計画」)の進捗状況を評価し、今後の山科のまちづくりについて議論する「山科区民まちづくり会議」の今年度第1回目の会議が開催されました。主な内容は次のとおりです。(会議の詳細内容は、区ホームページをご覧ください。)

- 平成26年度山科区「区民提案・共汗型まちづくり支援事業」
- 区基本計画に基づく取組の平成26年度実施計画及び平成25年度進捗評価
- 平成27年度以降に重点的に取り組む項目(など)



●問い合わせ先/区総務・防災担当  
(☎592-3066)

●問い合わせ先/区まちづくり推進担当(☎592-30088)



8月31日(日)、ハンナリズアリーナおよび市民スポーツ会館で京都市バレーボール祭が開催されました。山科区からは4学区から4チームが参加し、山階チーム、鏡山チーム、音羽チームの3チームが優秀チームとして表彰されました。

## 区民スポーツ最前線 第50回京都市 バレーボール祭

●問い合わせ先/ふれあい、やましな実行委員会事務局(区まちづくり推進担当)(☎592-30088)

●価格/1セット300円  
●内容/ジュース・わたがし・ポップコーン・ボールすくい・ラッキー抽選(くじ)  
●販売期間/11月4日(火)～21日(金)(土日祝を除く)  
●販売場所/区まちづくり推進担当  
※フリーマーケット中止について  
会場の一部が下水道工事関連施設として使用されているため、本年もフリーマーケットは実施することができません。

「11月23日(日)祝」開催  
ふれあい やましな  
2014区民まつり  
～前売りセット券を販売します～

●問い合わせ先/山科警察署(☎575-0110)

「自動車運転等に対する罰則がより厳しくなりました」  
「自動車の運転により人を死傷させる行為等の処罰に関する法律」(5月20日施行)により、飲酒運転等による死傷事件を起こした運転者に対し、その悪質・危険性に応じた処罰ができるようになりました。  
飲酒(薬物)の影響による死傷事故を起こした場合に、その影響の程度をごまかすために、さらに飲酒(薬物摂取)をしたり、その場を離れ飲酒(薬物)の濃度を減少させる場合等の厳罰化を図り、ごまかしや逃げ得を許さない内容になりました。

生活安全 スポット ニュース  
飲酒運転等に対する罰則がより厳しくなりました

●問い合わせ先/山科消防署(☎592-9755)

「住宅用火災警報器は設置されていますか?どこに付いていますか?」とお聞きします。  
かけがえのない命を守るため、台所・階段・寝室には住宅用火災警報器を設置しましょう。

地域防災 最前線  
住宅用火災警報器の設置状況調査  
～ご協力をお願いします～  
山科消防署では、住宅用火災警報器が台所・階段・寝室に設置されているかどうかの確認を強化しています。訪問し不在であったお宅には、ヒラを投函しておりますので、電話・FAX等によるご連絡をお願いします。

●問い合わせ先/山科消防署(☎592-9755)

「住宅用火災警報器は設置されていますか?どこに付いていますか?」とお聞きします。  
かけがえのない命を守るため、台所・階段・寝室には住宅用火災警報器を設置しましょう。

「山科天文台には現役の望遠鏡として日本最古のものが今まで使われるなど歴史があり、アマチュア天文学の聖地と呼ばれるなど天文学の教育普及活動の拠点としても重要な役割があります。時代や社会情勢が変わる中で、この天文台の持つ価値を問いなおし、新たな可能性を探るために、天文台の特徴を活かし、作品を展示します。将来、人類が宇宙に進出した際に起こりうる問題を中心として「宇宙」で変わるココロとカラダ」というテーマで募集した作品が集まりました。展示の他にも、来場者が参加型で楽しめるイベントが充実しています。」

山科盆地から北西の方角を望むと、山の頂の上に輝く銀色のドーム。1929年に建設された日本では2番目に完成した京都大学大学院理学研究科附属花山天文台です。設立当初の建物と望遠鏡が現在も使用され、京都市の「市民が残したいと思う」京都を彩る建物や庭園に認定されるなど、その歴史的価値が注目されています。

現在(Galleryweek2014)のアートイベントが実施されており、事務局の榎本さんにお話しを伺いました。  
「花山天文台には現役の望遠鏡として日本最古のものが今まで使われるなど歴史があり、アマチュア天文学の聖地と呼ばれるなど天文学の教育普及活動の拠点としても重要な役割があります。時代や社会情勢が変わる中で、この天文台の持つ価値を問いなおし、新たな可能性を探るために、天文台の特徴を活かし、作品を展示します。将来、人類が宇宙に進出した際に起こりうる問題を中心として「宇宙」で変わるココロとカラダ」というテーマで募集した作品が集まりました。展示の他にも、来場者が参加型で楽しめるイベントが充実しています。」

第26回 連載 区民活動きずなリレー

みんなで「第2期山科区基本計画」に取り組もう!

宇宙を身近に感じて  
～歴史ある花山天文台でのアートイベント～  
(山科)きずな支援事業補助金交付事業)

企画・運営しています。  
運営チームの一員の近江さんは、現代美術が専門の大学4年生です。「社会との関わりにおける現代アートについて研究しているのですが、この研究ユニットの話を聞き、天文台の施設を活かしての展示や、技術を使ったメディアアートに興味を持ち、企画運営に参加しています。」とのこと。

花山天文台での展示は10月24日(金)から26日(日)の3日間と、11月7日(金)から9日(日)の3日間。土日は蹴上駅から無料のシャトルバスが運行されます。現代アートが歴史ある天文台の中でどんな風に展示されるか、新しい価値が生まれるのか。区民のみなさん必見です。

※詳しくはGalleryweek2014ホームページをご覧ください。(事前申し込みが必要なイベントもあります)

●問い合わせ先/区総務・防災担当(☎592-3066)



1929年完成の花山天文台本館